

# さくら並木

## 生涯学習の新たな拠点と住民意識の高揚 ～放送大学学習室の開所～

大河原町長 齋 清志

季節の巡りが早く眩いばかりの新緑も、いつしか濃淡のついた緑のコントラストを見えています。そんななか5月15日に、大河原駅前図書館分館の『絵本と学びのへや』内に、放送大学宮城学習センター大河原視聴覚学習室（以下、放送大学学習室）が開所しました。県内では気仙沼・角田・石巻に次いで4番目ですが、BSデジタル放送やインターネット等を利用して授業を行う正規の通信制の大学です。豊かな教養を培うとともに、実生活に即した専門的学習が深められるようになっていて、教養学部と大学院（修士・博士後期課程）も設けられています。

開所の場所となった『絵本と学びのへや』は、住民の存在意義を訴える熱心な運動と、優しい町民性に繋がるボランティア活動への高い評価によって、見事に復活を遂げさせていただいた施設です。この場への放送大学学習室の開所は、町民の大切な誇りと期待を一層高めることになると受け止めています。さらに、本町の持つ特徴やこれから目指す町

の将来像である「人・まち・桜が咲き誇る先進のまち」にも繋がることになると考えているところです。

本町は、県南の中心に位置し商業の歴史を色濃く持ちながら、その中心性・拠点性・利便といった特徴を活かして着実に発展してきた町です。そして、教育や文化さらには生涯学習の面においても常に先進的な取り組みがなされてきた、教養豊かな町だと自負しています。私としても、教育や文化に裏打ちされた住民意識の高さや生涯学習を通して実践的なまちづくりへの参加・参画なくして、町の持続的な発展はあり得ないと常々考えてきたところです。

今日の社会は、変化が激しく複雑で多様な価値観が存在するが、だからこそ必然的に生まれてくる文化的な欲求や生涯学習の高まりに込める、しっかりとした学びの場が重要になっていくと思えてなりません。この放送大学学習室の開所が、まさに本町に相応しいまちづくりとして一歩先を行く明る



開所に先立ち、同日開催された「開所記念セレモニー」。

い元気な歩みに繋がることを切に期待するところです。ただし、開所だけでは全くの出発点に立っただけであり、地域のなかにあつて実践的に活用されるべきことが重要です。町の姿勢としても、ダイナミックに躍動する住民意識の高揚に向けて、今後とも生涯学習の持つ意義を力強く謳い、教育のブランド化や待機児童ゼロ等の子育て支援の充実に加え、生涯学習の先進地となるようがんばってまいります。

### まちの本棚



駅前図書館今月の新刊

#### 一般▶ 幕末史かく流れゆく

中村 彰彦/著 【中央公論新社】

開国か、攘夷か？佐幕か、倒幕か？天保12年、幕命撤回の失敗から、明治10年の西南戦争終結まで、複雑に変転する幕末史の流れをさまざまな史料を駆使して解き明かす。『中日新聞』ほか連載「幕末・明治の残照」を加筆。

#### 小説▶ 草薙の剣

橋本 治/著 【新潮社】

10代から60代まで、世代の異なる6人の男たちと彼らの祖父母まで遡るそれぞれの人生を辿り、日本人の心の100年を描き、現代のありようを根底から問い返す。作家デビュー40周年記念長篇小説。『新潮』掲載を単行本化。

#### 児童▶ 町でよく見る記号とマーク

WILL ども知育研究所/編著 【金の星社】

わたしたちの身の回りには、たくさんの記号やマークがあります。いろいろな記号やマークの役割（やくわり）・くふうを見てみましょう。場所を案内するマーク、安全にくらすためのマークなど、町でよく見る記号・マークを取り上げ、何を伝えようとしているのかを説明。クイズものついています。

#### 絵本▶ ひゃっくん

竹中 マユミ/文・絵 【偕成社】

ほくは、100円だま。おばあちゃんが、ゆうたろうにくれたおこづかい。ゆうたろうは、ほくのこを「ひゃっくん」ってよんでくれた。出かけるときはいつもいっしょ。だけど、ほくはお金。ゆうたろうがほしいものをついたら、ほくは旅(たび)だたなくちゃいけないんだ。その日は、とつぜんやってきて…。

# 学び舎通信

町内小中学校の情報を  
毎月お届けします

## 「楽しい学校」をめざして 金ヶ瀬小学校児童会始動

金ヶ瀬小学校の児童会総会には、3年生以上の児童全員が参加します。司会は、計画委員会が行い、各委員会の委員長は、それぞれの委員会の活動内容と1年間の活動予定等を説明します。その後、質疑応答を行い、参加している児童から、委員会へ質問やお願い、活

動への感謝の言葉等の発表があります。委員長は、その質問された事柄について一つ一つ丁寧に答えます。この総会で、金ヶ瀬小学校児童会の1年間の活動方針が決まります。金ヶ瀬小学校の児童は、一人ひとりが学校の要になつているのだという自覚のもと、いじめ・不登校の無い「楽しい学校」にするために、一生懸命活動します。

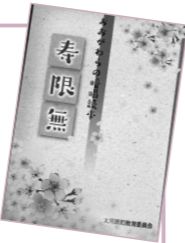
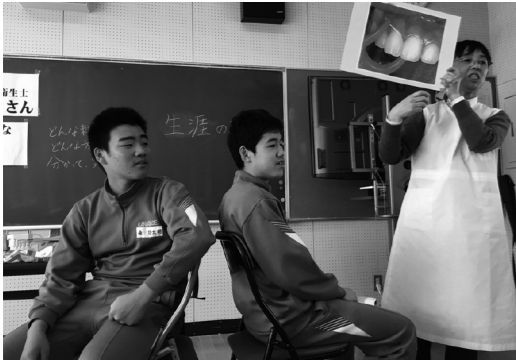


## 金ヶ瀬中学校

### 口腔指導 健康な歯を守るために

本校では、自主的な健康・安全管理ができる生徒の育成を目指して、計画的に保健指導を進めています。これは将来の健康寿命を意識したもので、その一環として町の歯科衛生士である佐藤きよみさんをお迎えし、全学年を対象に口腔指導を

行っています。5月10日には3年生を対象に実施しました。全員でかむ力を実験で確認したり、細かい部分の歯の磨き方を練習したりしました。染め出しをして磨き残しがあるところも確認しましたが、ほとんど汚れがない状態の生徒も多く、日頃から丁寧な歯磨きを心がけているようすがうかがわれました。



# 暗唱大好き

大小編

「先生、この本はどんな本ですか？」

入学して間もない1年生からこのような声が挙がりました。この本とは「おおがわら暗唱読本『寿限無』」です。担任の先生から「暗唱とはどんなことか」「暗唱読本の取り組み方」などの説明を聞き終えると、早速、子どもたちはページを開き、作品「十二支」の音読を行いました。そして数回の音読後には「暗唱できそう」「もう見ないで言える」といったたく



今月の暗唱作品

さんの反応に1年生の意欲とたくましさを感じました。

他の学年でも4月から暗唱に取り組んでいます。朝の会や帰りの会での取り組みに加え、階段の踊り場には学年で覚える「今月の暗唱作品」を掲示しています。その作品の前に足をとめ、友達同士で声に出している姿も見られます。日々の取り組みが暗唱に繋がっています。暗唱読本を手に行っている時の子どもたちは笑顔で目も輝いています。楽しみながら暗唱に取り組ませ、知的財産を増やしていきます。